

申11号「台風19号の影響に伴う輸送障害」

に関する申し入れ団体交渉終了！！

ピックアップ

10月12日に関東地方に上陸した台風19号は、堤防決壊による河川氾濫や土砂災害など甚大な被害の影響を受けました。高崎支社管内においては両毛線岩舟～栃木駅間、吾妻線長野原草津口～大前駅間、八高線北藤岡～寄居間が土砂崩壊や橋脚変異などにより、現在も一部不通となっています。また、台風上陸に伴い、乗務員手配や出勤者への対応など様々問題が発生しました。更に今後も異常気象による同様な災害が発生する可能性があるため早急に対策は行っていかなくてはなりません。今回の事象を教訓化し、今後の台風対策へと活かして行かなくてはなりません。地本は12月2日申11号「台風19号の影響に伴う輸送障害」に関する申し入れの団体交渉を行い、全ての項目が終了しました。特徴点については下記の通りです。

エリアメール受信時の取り扱いについて

(組合) 今回台風19号ではエリアメールが送信され業務用携帯電話で受信した事象が発生しているが、今後受信した場合の取り扱いを明らかにされたい。エリアメールは自分がいる位置にしか配信されない。指令は把握できるのか？

(会社) 現在のところ具体的な対応方は決まっていない。現在のところ決まっているのは受信したら指令に報告しその後の対応方は指令の指示となる。エリアメールは指令では把握できない。現場の判断である。状況を詳しく指令に報告をして頂きたい。

避難勧告等が発令された場合の取り扱いについて

(組合) 避難勧告等が出された場合の取り扱いについて明らかにされたい。ハザードマップ等の勉強会をお客さまの避難誘導等の可能性がある営業職場では必ず行っていくべきである。

(会社) 現在のところ具体的な対応方は決まっていない。現場での判断となる。ハザードマップなどの勉強会については今後検討して行きたい。委員会やマイプロなどで考えている職場もある。

(組合) 異常時対応について、委員会やマイプロではなく会社の責任として行うべきものである。

(会社) 現在意見を集約しながら安全企画室が考えている。集約後にCSや勉強会の開催を考えている。

北陸新幹線年末年始輸送について

(組合) 北陸新幹線年末年始輸送は何割程度になるのか？

(会社) 全ての車両を運用して9割の運転となる。現在のところこれ以上は難しい。

(組合) 年末年始の混雑対応についてどのような対応を行っていくのか？

(会社) 支社と現場で対応していきたい。指定席誘導等のホーム案内、高崎駅が中心となる。

振替輸送当日確定連絡について

(組合) 長期間の運休が確定していて当日にならないと確定連絡がない現状を改善してもらいたい。

(会社) 東京指令が私鉄と調整し、当日確定となる。現在のところ改善は厳しい。しかし、長期間の運休が確定している中での当日しか確定連絡出来ない状況については会社としても問題意識はある。今後の課題となる。